



鉄骨建設業協会と全国鉄構工業協会が今年、ゼネコンなどに受注時と鋼材手配時のコスト差を再契約して貰えるよう陳情活動や意見交換会を行ったが、これを実現しないと会社経営は維持できない。過去にない鋼材の値上げ幅で、極めて深刻な経

営課題として捉えている。2年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

金本 当社は9月決算だが、7月に76期(2021年10月1日〜22年9月30日)業績の上方修正を行い、売上高212億円、経常利益15億円とした。9月末現在、ほぼ発表通りの数値で推移している。前年度比で売上高は伸びたが、鋼材価格の高騰の影響を受けて経常利益は逆に伸び悩んだ。

このほど、77期(2022年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

いかに予想している。現在の山積み量は確定分だけで1年以上を確保しているが、やはり最大の懸念は、鋼材の値上げの転嫁にあり、これを吸収できなければ当然、経常利益が減少する。特に第1、第2四半期はかなり苦戦すると思っ

大手ファブ
トップインタビュー⑪

2022年
わが社の
経営戦略

川岸工業



金本 秀雄社長

再開発など事業計画は潤沢だが、

金本 仕事量は先行き2年近くまでの予約もあるが、4年後の2026年の物件の引き合

が、7月に76期(2021年10月1日〜22年9月30日)業績の上方修正を行い、売上高212億円、経常利益15億円とした。9月末現在、ほぼ発表通りの数値で推移している。前年度比で売上高は伸びたが、鋼材価格の高騰の影響を受けて経常利益は逆に伸び悩んだ。

このほど、77期(2022年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

最大の懸念は鋼材の値上げ転嫁
真の力量が求められる時代に

営課題として捉えている。2年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

いかに予想している。現在の山積み量は確定分だけで1年以上を確保しているが、やはり最大の懸念は、鋼材の値上げの転嫁にあり、これを吸収できなければ当然、経常利益が減少する。特に第1、第2四半期はかなり苦戦すると思っ

このほど、77期(2022年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

営課題として捉えている。2年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

いかに予想している。現在の山積み量は確定分だけで1年以上を確保しているが、やはり最大の懸念は、鋼材の値上げの転嫁にあり、これを吸収できなければ当然、経常利益が減少する。特に第1、第2四半期はかなり苦戦すると思っ

このほど、77期(2022年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

営課題として捉えている。2年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな

いかに予想している。現在の山積み量は確定分だけで1年以上を確保しているが、やはり最大の懸念は、鋼材の値上げの転嫁にあり、これを吸収できなければ当然、経常利益が減少する。特に第1、第2四半期はかなり苦戦すると思っ

このほど、77期(2022年10月1日〜23年9月30日)の各事業所の予算承認を終えたが、業績は今年と同水準で推移するのではな